

対象		科目区分				授業方法	
1年次		必修課目		美容理論		講義	
科目名		時間数		担当		実務経験	
衛生管理		1単位（30時間）		衛生管理教員資格取得者		—	
目標	公衆衛生の向上と環境要因について知識を深め、美容師になるための衛生管理の基礎を習得する。						
回	授業内容	回	授業内容	回	授業内容	回	授業内容
1	1編 1章 1節 公衆衛生の意義と課題	11	2編 1章 4節 上・下水道	21	3編 1章 2節 病原微生物③	31	
2	1編 1章 2節 公衆衛生発展の歴史	12	2編 1章 4節 廃棄物	22	3編 1章 3節 病原性と感受性	32	
3	1編 1章 3節 理美容師と公衆衛生	13	2編 1章 5節 衛生害虫	23	3編 1章 3節 汚染、感染、発病	33	
4	1編 1章 4節 保健所と理美容業	14	2編 1章 6節 環境保全	24	3編 1章 3節 免疫と予防接種	34	
5	1編 2章 1節 保健① 母子	15	中間試験 筆記	25	3編 1章 3節 感染症発生の原因	35	
6	1編 2章 1節 保健② 成人・高齢者	16	3編 1章 1節 感染症の歴史	26	3編 1章 3節 感染症予防3原則	36	
7	1編 2章 1節 保健③ 精神	17	3編 1章 1節 感染症と法律	27	進級試験 筆記	37	
8	2編 1章 1節 環境衛生の概要	18	3編 1章 1節 感染症の分類	28	3編 2章 1節 理美容と感染症	38	
9	2編 1章 2節 空気環境	19	3編 1章 2節 病原微生物①	29	3編 2章 2節 主な感染症	39	
10	2編 1章 3節 衣服・住居の衛生	20	3編 1章 2節 病原微生物②	30	3編 2章 3節 具体的対策	40	
テキスト・教材など							
テキストは日本理容美容教育センター発行「衛生管理」を使用 サブテキストとして同センター発行「ワークブック」を使用する							
評価方法							
評価については前期(中間)試験、後期(進級)試験を実施して理解度を計る。 及第点は100点満点中60点以上とし、及第点に達しないものについては別途追試験を実施する。							

対象		科目区分				授業方法	
1年次		必修課目		美容理論		講義	
科目名		時間数		担当		実務経験	
保健		2単位（60時間）		保健教員資格取得者		—	
目標	人体の構造と皮膚の性質や構造についての知識を深め、美容師になるための基礎知識を備える						
回	授業内容	回	授業内容	回	授業内容	回	授業内容
1	第1章 皮膚の構造 1-皮膚の表明	26	第5章 皮膚と皮膚付属器官の保健 1-皮膚と全身状態	51	人体の構造及び機能 第1章 1-人体各部の名称	76	
2	2-皮膚の断面	27	2-皮膚と精神 3-皮膚と栄養	52	1-人体各部の名称②	77	
3	3-表皮	28	4-皮膚とし好品 5-皮膚と体内病変	53	2-頭部、顔部、頸部の体表解剖学	78	
4	4-表皮と真皮の境	29	6-皮膚の水分と脂の状態	54	第2章 骨角器系 1-骨の種類と構造	79	
5	5-真皮	30	7-皮膚・付属器官とホルモン	55	2-骨の連結	80	
6	6-皮下組織	31	8-皮膚の保護と手入れ	56	3-骨角器系とそのはたらき	81	
7	7-皮膚の部位差	32	9-毛の保護と手入れ	57	第3章 筋系 1-筋の種類とその特徴	82	
8	第2章 皮膚付属器官の構造 1-毛	33	10-爪の保護と手入れ	58	2-主な骨格筋とそのはたらき	83	
9	2-脂腺(皮脂腺)	34	11-子どものおしゃれによる皮膚トラブル	59	3-表情筋と表情運動	84	
10	3-汗腺	35	第6章皮膚と付属器官の疾患 1-皮膚の異常とその種類	60	4-理容・美容の作業と筋疲労	85	
11	4-爪	36	2-皮膚疾患の原因 3-皮膚疾患の治療法	61		86	
12	第3章 皮膚の循環器系と神経系 1-皮膚の血管	37	4-皮膚炎と湿疹・蕁麻疹・薬疹	62		87	
13	2-皮膚のリンパ管	38	5-口唇の疾患	63		88	
14	3-皮膚の神経	39	6-温熱・寒冷による皮膚疾患 7-色化異常による皮膚疾患	64		89	
15	第4章 皮膚と皮膚付属器官の生理機能 1-体外保護作用	40	8-色素異常による皮膚疾患	65		90	
16	2-体温調節作用	41	9-血管腫(アカアザ)	66		91	
17	3-知覚作用と皮膚反射	42	10-脂腺母斑 11-下肢静脈瘤	67		92	
18	4-分泌排泄作用	43	12-分泌異常による皮膚疾患	68		93	
19	5-呼吸作用	44	13-化膿菌による皮膚疾患	69		94	
20	6-呼吸作用	45	14-ウイルスによる皮膚疾患	70		95	
21	7-貯蔵作用	46	15-真菌による皮膚疾患	71		96	
22	8-免疫・解毒・排除作用	47	16-衛生害虫による皮膚疾患	72		97	
23	9-再生作用	48	17-感染症の皮膚疾患の予防	73		98	
24	10-毛のはたらき 11-爪のはたらき	49	18-毛と爪の疾患 19-皮膚の腫瘍	74		99	
25	中間試験 筆記	50	進級試験 筆記	75		100	
テキスト・教材など							
テキストは日本理容美容教育センター発行「保健」を使用 サブテキストとして同センター発行「ワークブック」を使用する							
評価方法							
評価については前期(中間)試験、後期(進級)試験を実施して理解度を計る。 及第点は100点満点中60点以上とし、及第点に達しないものについては別途追試験を実施する。							

対象		科目区分				授業方法	
1年次		必修課目		美容理論		講義	
科目名		時間数		担当		実務経験	
香粧品化学		1単位（30時間）		香粧品化学教員資格取得者		—	
目 標	香粧品化学の基本原理について理解とその応用力とが美容師にとって重要な意義を持つことを理解させる						
回	授業内容	回	授業内容	回	授業内容	回	授業内容
1	1章 香粧品概論 1節	11	2章 香粧品用原料 2節	21	2章 香粧品用原料 7節	31	
2	1章 香粧品概論 1節	12	2章 香粧品用原料 3節	22	2章 香粧品用原料 8節	32	
3	1章 香粧品概論 2節	13	2章 香粧品用原料 3節	23	2章 香粧品用原料 8節	33	
4	1章 香粧品概論 2節	14	2章 香粧品用原料 4節	24	2章 香粧品用原料 9節	34	
5	1章 香粧品概論 3節	15	2章 香粧品用原料 4節	25	2章 香粧品用原料 9節	35	
6	1章 香粧品概論 3節	16	2章 香粧品用原料 5節	26	3章 基礎香粧品 1節	36	
7	1章 香粧品概論 4節	17	2章 香粧品用原料 6節	27	3章 基礎香粧品 2節	37	
8	1章 香粧品概論 4節	18	中間試験 筆記	28	3章 基礎香粧品 3節	38	
9	2章 香粧品用原料 1節	19	2章 香粧品用原料 6節	29	3章 基礎香粧品 4節	39	
10	2章 香粧品用原料 1節	20	2章 香粧品用原料 7節	30	進級試験 筆記	40	
テキスト・教材など							
テキストは日本理容美容教育センター発行「香粧品化学」を使用 サブテキストとして同センター発行「ワークブック」を使用する							
評価方法							
評価については前期(中間)試験、後期(進級)試験を実施して理解度を計る。 及第点は100点満点中60点以上とし、及第点に達しないものについては別途追試験を実施する。							

対象		科目区分				授業方法	
1年次		必修課目		美容理論		講義	
科目名		時間数		担当		実務経験	
美容技術理論		2単位（60時間）		技術理論教員資格取得者		美容師として美容室勤務	
目標	美容用語、用具類、技術についての知識を深め、美容師になるための基礎知識を備える						
回	授業内容	回	授業内容	回	授業内容	回	授業内容
1	序章 美容技術理論を学ぶにあたって（1）	26	7章 ヘアカラーリング（1・2）	51	12章 着付の理論と技術（1・2）	76	
2	序章 美容技術理論を学ぶにあたって（2・3）	27	7章 ヘアカラーリング（3・4）	52	12章 着付の理論と技術（3・4）	77	
3	1章 美容用具（1・2）	28	7章 ヘアカラーリング（5・6）	53	12章 着付の理論と技術（5・6）	78	
4	1章 美容用具（3・4）	29	7章 ヘアカラーリング（7・8）	54	12章 着付の理論と技術（7・8）	79	
5	1章 美容用具（5・6）	30	7章 ヘアカラーリング（9・10）	55	12章 着付の理論と技術（9・10）	80	
6	1章 美容用具（7・8）	31	7章 ヘアカラーリング（11・12）	56	12章 着付の理論と技術（11・12）	81	
7	1章 美容用具（9・10）	32	8章 エステティック（1・2）	57	12章 着付の理論と技術（13・14）	82	
8	1章 美容用具（11・12）	33	8章 エステティック（3・4）	58	12章 着付の理論と技術（15・16）	83	
9	2章 シャンプーイング（1・2）	34	8章 エステティック（5・6）	59	12章 着付の理論と技術（17）	84	
10	2章 シャンプーイング（3・4）	35	8章 エステティック（7・8・9）	60	12章 着付の理論と技術（18）	85	
11	2章 シャンプーイング（5・6）	36	9章 ネイル技術（1・2）	61		86	
12	3章 ヘアデザイン（1）	37	9章 ネイル技術（3・4）	62		87	
13	4章 ヘアカットイング（1・2）	38	9章 ネイル技術（5・6）	63		88	
14	4章 ヘアカットイング（3・4）	39	9章 ネイル技術（7・8・9）	64		89	
15	4章 ヘアカットイング（5・6）	40	10章 メイクアップ（1・2）	65		90	
16	4章 ヘアカットイング（7・8・9）	41	10章 メイクアップ（3・4）	66		91	
17	5章 パーマネントウェーピング（1・2）	42	10章 メイクアップ（5・6）	67		92	
18	5章 パーマネントウェーピング（3・4）	43	10章 メイクアップ（7・8）	68		93	
19	5章 パーマネントウェーピング（5・6・7）	44	10章 メイクアップ（9・10）	69		94	
20	6章 ヘアセットイング（1・2）	45	10章 メイクアップ（11・12）	70		95	
21	6章 ヘアセットイング（3・4）	46	11章 日本髪（1・2）	71		96	
22	6章 ヘアセットイング（5・6）	47	11章 日本髪（3・4）	72		97	
23	6章 ヘアセットイング（7・8）	48	11章 日本髪（5・6）	73		98	
24	6章 ヘアセットイング（9・10・11）	49	11章 日本髪（7・8・9）	74		99	
25	中間試験 筆記	50	進級試験 筆記	75		100	
テキスト・教材など							
テキストは日本理容美容教育センター発行「技術理論」を使用 サブテキストとして同センター発行「ワークブック」を使用する							
評価方法							
評価については前期(中間)試験、後期(進級)試験を実施して理解度を計る。 及第点は100点満点中60点以上とし、及第点に達しないものについては別途追試験を実施する。							

対象		科目区分				授業方法	
1年次		必修課目		美容理論		講義	
科目名		時間数		担当		実務経験	
文化論		45時間／60時間 文化論 2単位(60時間)		文化論教員資格取得者		—	
目標	人間美の創造、実現が美容師にとって重要であり、更に美的感覚と美容の歴史を学ぶ。						
回	授業内容	回	授業内容	回	授業内容	回	授業内容
1	第6節 近代 (明治・大正・昭和20年)	26	復習プリント	51		76	
2	復習プリント	27	第8節 近代(18世紀末～19世紀初め)	52		77	
3	第7節 現代Ⅰ(1945年～1950年代)	28	復習プリント	53		78	
4	復習プリント	29	第9節 近代(19世紀)	54		79	
5	第8節 現代Ⅱ(1960年～1970年代)	30	復習プリント	55		80	
6	復習プリント	31	第10節 現代Ⅰ(1910年代～1920年代)	56		81	
7	第9節 現代Ⅲ(1980年～1990年代)	32	復習プリント	57		82	
8	復習プリント	33	第11節 現代Ⅱ(1930年代～1940年代前半)	58		83	
9	第10節 現代Ⅳ(2000年以降)	34	第12節 現代Ⅲ(1940年代～1950年代)	59		84	
10	復習プリント	35	進級試験 筆記	60		85	
11	第1節 古代エジプト	36	第13節 現代Ⅳ(1960年代)	61		86	
12	復習プリント	37	復習プリント	62		87	
13	第2節 古代ギリシャ・ローマ	38	第14節 現代Ⅴ(1970年代)	63		88	
14	復習プリント	39	復習プリント	64		89	
15	第3節 古代ゲルマン	40	第15節 現代Ⅵ(1980年代)	65		90	
16	復習プリント	41	復習プリント	66		91	
17	第4節 中世ヨーロッパ	42	第16節 現代Ⅶ(1990年代～2010年)	67		92	
18	復習プリント	43	第5章 和装・洋装の礼装①	68		93	
19	まとめプリント①	44	第5章 和装・洋装の礼装②	69		94	
20	まとめプリント②	45	まとめプリント	70		95	
21	第5節 近世Ⅰ【16世紀】	46		71		96	
22	復習プリント	47		72		97	
23	第6節 近世Ⅱ(16世紀)	48		73		98	
24	復習プリント	49		74		99	
25	第7節 近世Ⅲ(17世紀)	50		75		100	
テキスト・教材など							
テキストは日本理容美容教育センター発行「文化論」を使用 サブテキストとして同センター発行「ワークブック」を使用する							
評価方法							
【定期試験】後期(進級)試験を実施して理解度を計る。 及第点は100点満点中60点以上とし、及第点に達しないものについては別途追試験を実施する。							

対象		科目区分				授業方法	
1年次		必修課目		美容理論		講義	
科目名		時間数		担当		実務経験	
運営管理		18時間／30時間 運営管理 1単位(30時間)		運営管理教員資格取得者		—	
目標	美容室の経営や労務管理の基本を理解する						
回	授業内容	回	授業内容	回	授業内容	回	授業内容
1	第1編 第1章 第1節 経営が必要とされる理由	11	第1編 第2章 第4節 理容業・美容業の顧客について	21		31	
2	第1編 第1章 第2節 継続が難しい理由	12	第1編 第3章 第1節 資金管理の重要性	22		32	
3	第1編 第1章 第3節 経営とは何か	13	第1編 第3章 第2節 収支と損益	23		33	
4	第1編 第1章 第4節 経営資源と経営計画	14	進級試験 筆記	24		34	
5	第1編 第1章 第5節 経営戦略	15	第1編 第3章 第3節 会計の考え方	25		35	
6	第1編 第1章 第6節 経営戦略が目指すもの	16	第1編 第3章 第4節 コストを管理する	26		36	
7	第1編 第2章 第1節 業界の概要	17	第1編 第3章 第5節 税金について	27		37	
8	第1編 第2章 第2節 競争の変化	18	第2編 第1章 第1節 人という資源とは	28		38	
9	第1編 第2章 第3節 サービスとしての理容・美容①	19		29		39	
10	第1編 第2章 第3節 サービスとしての理容・美容②	20		30		40	
テキスト・教材など							
テキストは日本理容美容教育センター発行「運営管理」を使用 サブテキストとして同センター発行「ワークブック」を使用する							
評価方法							
【定期試験】後期(進級)試験を実施して理解度を計る。 及第点は100点満点中60点以上とし、及第点に達しないものについては別途追試験を実施する。							

対象		科目区分				授業方法	
1年次		必修課目		美容実習		実習	
科目名		時間数		担当		実務経験	
ワインディング		10単位（300時間）		担任・副担任		美容師として美容室勤務	
目標	①基本技術習得②タイム内の仕上がりレベルを安定③80点レベル（国試を見据えて）の到達						
回	授業内容	回	授業内容	回	授業内容	回	授業内容
1	道具の説明・使い方 ブロッキング説明	26	全頭 50分 タイム追い	51	全頭 23分 タイム追い	76	全頭20分 タイム追い
2	下巻きの巻き方・練習 上巻きの巻き方・練習	27	全頭 50分 タイム追い	52	全頭 23分 タイム追い	77	全頭20分 タイム追い
3	下巻きの巻き方・練習 上巻きの巻き方・練習	28	全頭 50分 タイム追い	53	全頭 23分 タイム追い	78	全頭20分 タイム追い
4	フロントの構成 センター練習	29	全頭 50分 タイム追い	54	全頭 23分 タイム追い	79	全頭20分 タイム追い
5	右バックサイド構成・練習 右サイドの構成・練習	30	全頭 50分 タイム追い	55	全頭 23分 タイム追い	80	全頭20分 タイム追い
6	左バックサイド構成・練習 左サイドの構成・練習	31	全頭 50分 タイム追い	56	全頭 23分 タイム追い	81	全頭20分 タイム追い
7	全頭きれい巻き	32	全頭 45分 タイム追い	57	全頭 23分 タイム追い	82	全頭20分 タイム追い
8	全頭きれい巻き	33	中間試験	58	全頭 23分 タイム追い	83	全頭20分 タイム追い
9	全頭 60分 タイム追い	34	全頭 45分 タイム追い	59	全頭 23分 タイム追い	84	全頭20分 タイム追い
10	全頭 60分 タイム追い	35	全頭 45分 タイム追い	60	全頭 23分 タイム追い	85	全頭20分 タイム追い
11	全頭 60分 タイム追い	36	全頭 45分 タイム追い	61	全頭 23分 タイム追い	86	全頭20分 タイム追い
12	全頭 60分 タイム追い	37	全頭 45分 タイム追い	62	全頭 23分 タイム追い	87	全頭20分 タイム追い
13	全頭 60分 タイム追い	38	全頭 40分 タイム追い	63	進級試験	88	全頭20分 タイム追い
14	全頭 60分 タイム追い	39	全頭 40分 タイム追い	64	全頭 23分 タイム追い	89	全頭20分 タイム追い
15	全頭 60分 タイム追い	40	全頭 40分 タイム追い	65	全頭 23分 タイム追い	90	全頭20分 タイム追い
16	全頭 60分 タイム追い	41	全頭 40分 タイム追い	66	全頭 23分 タイム追い	91	全頭20分 タイム追い
17	全頭 60分 タイム追い	42	全頭 40分 タイム追い	67	全頭 23分 タイム追い	92	全頭20分 タイム追い
18	全頭 60分 タイム追い	43	全頭 40分 タイム追い	68	全頭 23分 タイム追い	93	全頭20分 タイム追い
19	全頭 60分 タイム追い	44	全頭 35分 タイム追い	69	全頭 23分 タイム追い	94	全頭20分 タイム追い
20	全頭 60分 タイム追い	45	全頭 35分 タイム追い	70	全頭 23分 タイム追い	95	全頭20分 タイム追い
21	全頭 60分 タイム追い	46	全頭 35分 タイム追い	71	全頭 23分 タイム追い	96	全頭20分 タイム追い
22	全頭 60分 タイム追い	47	全頭 35分 タイム追い	72	全頭 23分 タイム追い	97	全頭20分 タイム追い
23	全頭 60分 タイム追い	48	全頭 35分 タイム追い	73	全頭 23分 タイム追い	98	全頭20分 タイム追い
24	全頭 60分 タイム追い	49	全頭 35分 タイム追い	74	全頭 23分 タイム追い	99	全頭20分 タイム追い
25	小テスト 予定 60分	50	全頭 35分 タイム追い	75	全頭 23分 タイム追い	100	全頭20分 タイム追い
テキスト・教材など							
美容技術理論Ⅰ・美容実習（日本理容美容教育センター）、ウィンドウイッグ、ウィンド道具一式							
評価方法							
定期試験を実施して理解度を計る。試験は100点満点中、60点を及第点として満たない場合は追試験を行う。							

対象		科目区分				授業方法	
1年次		選択課目		サロンワーク I		実習	
科目名		時間数		担当		実務経験	
シャンプー		1単位 (30時間)		担任・副担任		美容師として美容室勤務	
目標	シャンプー技術の基礎を身に付け、アシスタント業務習得を徹底する						
回	授業内容	回	授業内容	回	授業内容	回	授業内容
1	・シャンプー理論 (教科書) ・シャンプー台の使い方。 ・タオル、クロス、ひざ掛けの掛け方。	11		21		31	
2	・教科書に沿って手技手順のデモと練習。 ・テキストに沿って、シャンプーの手順確認、練習。	12		22		32	
3	相モデルで実践。 ・ご案内、声掛け、流し、ファーストシャンプー、リンス、タオルドライ、タオルターバンの練習。	13		23		33	
4	相モデルで実践。 ・ご案内、声掛け、流し、ファーストシャンプー、リンス、タオルドライ、タオルターバンの練習。	14		24		34	
5	バックシャンプーの手技、手順の練習	15		25		35	
6	バックシャンプーの手技、手順の練習	16		26		36	
7	バックシャンプータイムレッスン	17		27		37	
8	バックシャンプータイムレッスン	18		28		38	
9	レセプションからフルシャンプー	19		29		39	
10	レセプションからフルシャンプー	20		30		40	
テキスト・教材など							
美容実習 1 (理容美容教育センター) カットウイッグ、クランプ、ジャンボコーム、タオル (6枚)、フェイスガーゼ (3枚)、ダッカール (適宜)、ハンドドライヤー							
評価方法							
授業態度、出席状況、相モデルでの教員チェック、モデル評価							

対象		科目区分				授業方法	
1年次		選択課目		サロンワークⅡ		実習	
科目名		時間数		担当		実務経験	
カラー		24時間／60時間 サロンワークⅡ 2単位(60時間)		担任・副担任		美容師として美容室勤務	
目標	カラー、サロンワークの基礎を身に付け、アシスタント業務の習得を徹底する。						
回	授業内容	回	授業内容	回	授業内容	回	授業内容
1	カラー理論(教科書) ・カラーリング技術の基礎 知識、用具類取り扱い説明。 トリートメントを代用、 刷毛使い方の実践。	11		21		31	
2	毛先ブリーチ塗布 (塗り方、塗布量、染まり にくい所の塗り方など) 中間塗りの練習用を作成する 目的	12		22		32	
3	おしゃれ染め 中間、根元 の塗り (トリートメントし使用)	13		23		33	
4	白髪染め 根元塗り (トリートメント使用)	14		24		34	
5	おしゃれ染め 中間、根元 の塗り (カラー剤使用)	15		25		35	
6	ホイールワーク(ウィーピング)	16		26		36	
7	疑似施術 相モデル トレーニングクリーム使用	17		27		37	
8	疑似施術 相モデル トレーニングクリーム使用	18		28		38	
9		19		29		39	
10		20		30		40	
テキスト・教材など							
技術理論1・実習1(日本理容美容教育センター)、ハケ、カップ、タオル							
評価方法							
授業態度、出席状況、チェックテストの成績							

対象		科目区分				授業方法	
1年次		選択課目		サロンワークⅡ		実習	
科目名		時間数		担当		実務経験	
パーマ		12時間／60時間 サロンワークⅡ 2単位(60時間)		担任・副担任		美容師として美容室勤務	
目標	パーマ技術の基礎を身に付け、アシスタント業務の習得を徹底する。						
回	授業内容	回	授業内容	回	授業内容	回	授業内容
1	・パーマ理論(教科書) ・ワインディングの手順(教科書) ・ワインディングの準備	11		21		31	
2	特殊巻き (縦巻き、中間巻き) ターバン、液かけまで	12		22		32	
3	特殊巻き (縦巻き、中間巻き) ターバン、液塗布	13		23		33	
4	相モデル カウンセリング 薬剤選定 ロッド選定、巻き方	14		24		34	
5		15		25		35	
6		16		26		36	
7		17		27		37	
8		18		28		38	
9		19		29		39	
10		20		30		40	
テキスト・教材など							
教材：ワインダー式、長めのウィッグ、ダックカール、コーム類、タオル、アプリケーションター							
評価方法							
出席状況・授業態度・チェックテスト							

対象		科目区分				授業方法	
1年次		選択課目		サロンワークⅡ		実習	
科目名		時間数		担当		実務経験	
サロン実習		24時間／60時間 サロンワークⅡ 2単位(60時間)		担任・副担任		美容師として美容室勤務	
目標	サロンワークを想定したサロン基礎技術、アシスタントワークを学ぶ						
回	授業内容	回	授業内容	回	授業内容	回	授業内容
1	・サロン内設備説明 ・挨拶、立ち方 ・タオル・クロスたたみ方 ・掃除の仕方	11		21		31	
2	・カウンセリングの仕方 ・タオル、ひざ掛け、クロスのかけ方 ・受付・ご案内の仕方 ・雑誌の出し方、選び方	12		22		32	
3	・ご案内 ・カウンセリング ・カラーorパーマ ・シャンプー・ブロー ・セット	13		23		33	
4	・ご案内 ・カウンセリング ・カラーorパーマ ・シャンプー・ブロー ・セット	14		24		34	
5	外部モデル	15		25		35	
6	外部モデル	16		26		36	
7	外部モデル	17		27		37	
8	外部モデル	18		28		38	
9		19		29		39	
10		20		30		40	
テキスト・教材など							
スプレイヤー・コーム類・ダッカール・ハケ・カップ、ドライヤー、ブラシ類、タオル							
評価方法							
出席状況・授業態度・チェックテスト							

対象		科目区分				授業方法	
1年次		選択課目		サロンワークⅢ		実習	
科目名		時間数		担当		実務経験	
カットⅠ		2単位（60時間）		担任・副担任		美容師として美容室勤務	
目標	カットの基礎技術習得						
回	授業内容	回	授業内容	回	授業内容	回	授業内容
1	道具の説明 平行ワンリングス	11	ラウンドレイヤー	21		31	
2	平行ワンリングス	12	前下がりがりワンリングスブロー	22		32	
3	平行ワンリングスブロー	13	前下がりがりワンリングスブロー	23		33	
4	平行ワンリングスブロー	14	ワンリングスブロー	24		34	
5	平行ワンリングスブロー	15	ワンリングスブロー	25		35	
6	前上がりワンリングス	16	グラデーションボブブロー	26		36	
7	前上がりワンリングス	17	グラデーションボブブロー	27		37	
8	グラデュエーションボブ	18	ラウンドレイヤーブロー	28		38	
9	グラデュエーションボブ	19	ラウンドレイヤーブロー	29		39	
10	ラウンドレイヤー	20	ラウンドレイヤー	30		40	
テキスト・教材など							
テキスト、カットウイッグ、カット道具一式							
評価方法							
出席状況・授業態度・チェックテスト							

対象		科目区分				授業方法	
1年次		選択課目		サロンワークⅣ		実習	
科目名		時間数		担当		実務経験	
ヘアアレンジ		12時間／30時間 サロンワークⅣ 1単位(30時間)		担任・副担任		美容師として美容室勤務	
目標	アップの基本と楽しさ、基本技術習得						
回	授業内容	回	授業内容	回	授業内容	回	授業内容
1	たぼ毛を作る コームの持ち方 ピンの持ち方・止め方	11		21		31	
2	一束・逆毛 ブラシの使い方・動かし方 ゴムの使い方、結び方 スプレー、ワックスの使い方	12		22		32	
3	編み込みをする 三つ編み(表、裏) 他、四つ編みなど 編み込みアレンジ	13		23		33	
4	アイロンの使い方 求めるカールの大きさ 夜会巻き 作品作り	14		24		34	
5		15		25		35	
6		16		26		36	
7		17		27		37	
8		18		28		38	
9		19		29		39	
10		20		30		40	
テキスト・教材など							
ウィッグ、猪毛ブラシ、コーム類、黒ゴム、たぼ毛、ダッカール、ピン類、ヘアークリーム、ワックス、アイロン、ワインドゴムorビニールゴム							
評価方法							
出席状況・授業態度・作品評価							

対象		科目区分				授業方法	
1年次		選択課目		サロンワークⅣ		実習	
科目名		時間数		担当		実務経験	
まつ毛エクステンション		18時間／30時間 サロンワークⅣ 1単位 (30時間)		まつ毛エクステンション指導認定講師		アイリストとしてマツエクサロン勤務	
目標	まつ毛エクステンションの知識向上と基礎技術の習得						
回	授業内容	回	授業内容	回	授業内容	回	授業内容
1	・序章(P4～7) ・モデルを使つての展示 ・個々の用具類の確認、準備 ・ツイザー、エクステ確認	11		21		31	
2	・ウィッグに装着の練習	12		22		32	
3	・教科書 第2章～第5章	13		23		33	
4	・10分間テスト(筆記) ・テーブルセッティング ・装着の練習 ・リムーブ練習	14		24		34	
5	・10分間テスト(筆記) ・テーブルセッティング ・装着の練習 ・タイムを計つての練習	15		25		35	
6	・実技試験 ・筆記試験 ・質疑応答	16		26		36	
7		17		27		37	
8		18		28		38	
9		19		29		39	
10		20		30		40	
テキスト・教材など							
まつ毛エクステ教本(教育センター出版)/筆記用具/ノート/カットウィッグ/ タオル×4枚/コットン/プラスチックコップ							
評価方法							
授業態度/出欠状況/確認テスト							

対象		科目区分				授業方法	
1年次		選択課目		一般教養 I		講義	
科目名		時間数		担当		実務経験	
接客マナー SBSマナー		45時間/60時間 一般教養 I 2単位 (60時間)		サービス接客講師		—	
目標	一般的な接客マナーから就職活動、社会人を見据えた社会人マナーまでを習得 学校生活におけるマナーの習得、及び美容師としての接客マナーの知識と姿勢を身に付ける						
回	授業内容	回	授業内容	回	授業内容	回	授業内容
1	・オリエンテーション ・お辞儀 ・挨拶テスト	11	・サロンワーク/ 電話受付	21		31	
2	・挨拶テスト ・ディスカッション ・サロン見学/申込電話	12	・サロンワーク/ レセプションでの対応	22		32	
3	P 1～7 はじめに/第一章 P 16～20 第2章	13	・サロンワーク/ レセプションでの対応	23		33	
4	P 21～23 第3章 (ロールプレイ体験 編) ①予約/お迎え・受付/ご 案内	14	・ディスカッション ・サロンワーク/接客①	24		34	
5	P 23～25 第3章 (ロールプレイ体験 編) ①カウンセリング/施術/ お会計・お見送り	15	・サロンワーク/接客②	25		35	
6	検定説明 1分間スピーチ 採点	16		26		36	
7	検定説明 1分間スピーチ 模擬検定 検定学科対策	17		27		37	
8	・サロン見学/電話 ・ディスカッション ・サロンワークについて	18		28		38	
9	・ロールプレイ体験編 ・予約/お迎え・受付/ご 案内	19		29		39	
10	・ロールプレイ体験編 ・予約/お迎え・受付/ご 案内	20		30		40	
テキスト・教材など							
テキスト・筆記用具・SBSマナーテキスト							
評価方法							
出席率・授業態度・SBSマナー検定3級結果・実技テスト・提出物							

対象		科目区分				授業方法	
1年次		選択課目		一般教養Ⅱ		実習	
科目名		時間数		担当		実務経験	
メイクⅠ		2単位（60時間）		メイク指導認定講師		美容師として美容室勤務	
目標	SBS2級習得、サロンワークにおいて料金をいただける技術習得、幅広い年齢に対応するナチュラルメイクを習得。						
回	授業内容	回	授業内容	回	授業内容	回	授業内容
1	座学（常勤による授業） テーブルセッティング、タオルのかけ方 スキンケア	11	アイシャドウ、アイライン、マスカラ	21		31	
2	スキンケア、ベース、コント ロールカラー、FD	12	小テスト（アイシャドウ、アイライン、マスカラ）	22		32	
3	スキンケア～FD、 立体について知る フェイスパウダー	13	リップ・チーク	23		33	
4	スキンケア～FD、修正、 フェイスパウダー （FDブラシワーク）	14	リップ・チーク	24		34	
5	スキンケア～FD、修正、 フェイスパウダー	15	小テスト （リップ・チーク）	25		35	
6	小テスト（ベース）	16	ナチュラルメイク タイム取り（40分）	26		36	
7	アイブロウ	17	ナチュラルメイク タイム取り（40分）	27		37	
8	アイブロウ	18	フルメイク タイム取り（40分）	28		38	
9	小テスト（アイブロウ）	19	フルメイク タイム取り（40分）	29		39	
10	アイシャドウ、アイライン、マスカラ	20	模擬実技（40分）	30		40	
テキスト・教材など							
SBSメイクテキスト・メイク道具・ティッシュ・コットン・綿棒・つけまつ毛・筆記用具							
評価方法							
授業態度、出席状況、技術チェック							

対象		科目区分				授業方法	
1年次		選択課目		実務実習		実習	
科目名		時間数		担当		実務経験	
実務実習		2単位（60時間）		担任・実習先サロン		美容師として美容室勤務	
目標	美容所の現場を通して、理論・実習の相互連携を図り、美容師としての専門技術を効果的に習得。						
回	授業内容	回	授業内容	回	授業内容	回	授業内容
1	サロン営業の現場によるアシスタント業務全般①	11		21		31	
2	サロン営業の現場によるアシスタント業務全般②	12		22		32	
3	サロン営業の現場によるアシスタント業務全般③	13		23		33	
4	サロン営業の現場によるアシスタント業務全般④	14		24		34	
5	サロン営業の現場によるアシスタント業務全般⑤	15		25		35	
6	サロン営業の現場によるアシスタント業務全般⑥	16		26		36	
7	サロン営業の現場によるアシスタント業務全般⑦	17		27		37	
8	サロン営業の現場によるアシスタント業務全般⑧	18		28		38	
9	サロン営業の現場によるアシスタント業務全般⑨	19		29		39	
10	サロン営業の現場によるアシスタント業務全般⑩	20		30		40	
テキスト・教材など							
筆記用具他							
評価方法							
美容所の美容師並びに管理美容師による評価レポートを基に行う。							

対象		科目区分				授業方法	
1年次		選択課目		選択コース		実習	
科目名		時間数		担当		実務経験	
カットⅡ		2単位（60時間）		担任・副担任		美容師として美容室勤務	
目標	「カットⅠ」の基礎技術から応用技術を習得						
回	授業内容	回	授業内容	回	授業内容	回	授業内容
1	ロングシャギー	11	ロングレイヤー	21		31	
2	ミディアムシャギー	12	ミディアムレイヤー	22		32	
3	グラデーション	13	サイドグラデーション サイドバック刈上げ	23		33	
4	サイドグラデーション	14	ショートレイヤー	24		34	
5	サイドグラデーション 刈り上げ	15	ショートレイヤー サイドバック刈上げ	25		35	
6	ロングシャギー	16	ロングレイヤー	26		36	
7	ミディアムシャギー	17	グラデーション	27		37	
8	ミディアムシャギー	18	サイドグラデーション	28		38	
9	サイドグラデーション	19	ワイドバングショート	29		39	
10	サイドグラデーション サイドバック刈上げ	20	ワイドバングショート *チェックテスト*	30		40	
テキスト・教材など							
テキスト、カットウイッグ、カット道具一式							
評価方法							
授業態度/出欠状況/技術チェック							

対象		科目区分				授業方法	
1年次		選択課目		選択コース		実習	
科目名		時間数		担当		実務経験	
サロンワーク		1単位（30時間）		担任・副担任		美容師として美容室勤務	
目標	パーマ、カラーの手順を把握し、パーマ、カラーのアシスタントを円滑に出来るようにする。						
回	授業内容	回	授業内容	回	授業内容	回	授業内容
1	カラー理論（教科書） ・カラーリング準備 ・施術の一連の流れ	11		21		31	
2	疑似施術(チェックテスト) 相モデル トリートメント使用 おしゃれ染め手順 シャンプー、ブローまで	12		22		32	
3	疑似施術(チェックテスト) 相モデル トリートメント使用 おしゃれ染め手順 シャンプー、ブローまで	13		23		33	
4	相モデルでの薬液塗布の仕方、ターバン交換 (実際に薬液は使わない)	14		24		34	
5	薬剤の知識、ロッド選定のやり方、次回スタイル作りのカウンセリングシートの作成	15		25		35	
6	実際にウィッグを使って、スタイル作り①	16		26		36	
7	実際にウィッグを使って、スタイル作り②	17		27		37	
8	1回目相モデル 部分カラー または部分パーマの実践	18		28		38	
9	2回目相モデル 部分カラー または部分パーマの実践	19		29		39	
10	3回目相モデル 部分カラー または部分パーマの実践	20		30		40	
テキスト・教材など							
学生：技術理論1、実習1、ハケ、カップ、タオル、パーマ道具一式 教員：相モデル用トリートメント、パーマ液							
評価方法							
授業態度・出席状況・チェックテスト							

対象		科目区分				授業方法	
1年次		選択課目		選択コース		実習	
科目名		時間数		担当		実務経験	
メイクⅡ		2単位（60時間）		メイク指導認定講師		美容師として美容室勤務	
目標	基礎技術から応用、また様々なシーンによる幅広いバリエーションテクニックを習得						
回	授業内容	回	授業内容	回	授業内容	回	授業内容
1	①トレンドメイク 雑誌のモデルメイクを学ぶ	11	②特殊メイク（傷、痣、火傷） 作品作り	21		31	
2	②トレンドメイク 雑誌から流行を知りメイクを学ぶ	12	歌舞伎姫→隈取	22		32	
3	①ボディペイント&ボディジュエリー練習	13	歌舞伎姫→隈取	23		33	
4	②ボディペイント&ボディジュエリー 作品作り	14	舞台メイク（宝塚・バレエ）	24		34	
5	①成人式メイク 古典的な成人式の由来・歴史を知る	15	アラビックメイク	25		35	
6	②成人式メイク 現場対策	16	アラビックメイク	26		36	
7	③成人式メイク 現場対策	17	ピエロメイク	27		37	
8	①キュート、クールなど	18	老人メイク	28		38	
9	②キュート、クールなど	19	①キッツメイク	29		39	
10	①特殊メイク（傷、痣、火傷）	20	②キッツメイク	30		40	
テキスト・教材など							
テキスト、メイクⅡ道具一式							
評価方法							
授業態度/出欠状況/技術チェック							

対象		科目区分				授業方法	
1年次		選択課目		選択コース		実習	
科目名		時間数		担当		実務経験	
ネイル		1単位（30時間）		ネイル指導認定講師		ネイリストとしてネイルサロン勤務	
目標	ネイル理論及びネイルケア基礎技術の習得						
回	授業内容	回	授業内容	回	授業内容	回	授業内容
1	テーブルセッティング 道具チェック	11		21		31	
2	筆記テスト カラーオフ ファイリング キューティクル処理	12		22		32	
3	ファイリング キューティクル処理 バッフィング、マッサージ	13		23		33	
4	カラーリング、カラーオフ	14		24		34	
5	バッフィング、マッサージ ケアのみテスト(40分間)	15		25		35	
6	通し練習	16		26		36	
7	通し練習	17		27		37	
8	通し練習	18		28		38	
9	通し練習	19		29		39	
10	実技テスト(60分間)	20		30		40	
テキスト・教材など							
テキスト、座席表、名簿、採点表、カラー練習シート、個人教材一式、グループ教材一式							
評価方法							
筆記テスト、実技テスト、授業態度							